

令和7年度「実施計画 兼 まちづくり達成状況報告書」（事務事業点検シート）

課等名： 下水道課 シート No. : 97 作成日： 2026.5/12

① 総合計画上の位置付けと事務事業の背景・目的と目標

後期基本計画	施策の大綱	V都市基盤の充実	事務事業の背景・目的	事務事業の目標
	施策の目標	3快適な都市環境の整備を進める	現在の下水道事業は、人口減少や少子高齢化の進行によって、使用料などの収入が減少する一方、物価高騰により支出が増加しています。そのため、決算上では純利益を出していますが、他会計からの繰入金を多く入れており、経営状態は必ずしも良いとは言えません。 よって、経営状態の改善のための目標を設定し、その目標達成のためのアクティビティ（活動）を推進していかなくてはなりません。	経営状態改善のため、3つの目標を設定します。 ①収入の増加 接続率を向上し、下水道使用料を増やすため、普及啓発活動を行います。その一方で、未収金の集金も行っていきます。 ②支出の減少 維持管理費増加に対応するため、ストックマネジメント事業や広域化・共同化事業を推進し、経営のスリム化を目指します。 ③経営戦略の見直し 既存の経営戦略と現状と比べて、再度検証し改定を行うことで、今後の経営健全化の指標とします。
	施策	5下水道		
	施策内容	公共下水道事業運営の適正化		
	その他、根拠法令及び分野別計画等	—		
事務事業名		公共下水道事業運営の適正化		

② アクティビティ（活動・事業）とアウトプット（結果）

③ インプット（投入）

アクティビティ（活動・事業）		アウトプット（結果）			R7予算額	R7決算額
活動名・事業名 （対象年）	R7活動・事業内容	指標（単位）	R7目標値	R8目標値		
			R7実績値	R9目標値		
市イベントでの普及啓発活動 （R7・8・9）	市イベントにおいて、下水道PRブースを設置し、普及啓発活動を行います。	下水道PRブース来場者数	500	500	— 千円	— 千円
			500	500		
下水道受益者負担金の未収金催告訪問 （R7・8・9）	下水道受益者負担金未納者に対し、書面による通知のほか訪問し対面での催告を行います。	円	—	—	— 千円	— 千円
			1,663,900	—		
下水道使用料の未収金夜間催告訪問 （R7・8・9）	下水道使用料未納者に対し、書面による通知のほか訪問し対面での催告を行います。	円	—	—	— 千円	— 千円
			53,548	—		
ストックマネジメント事業の推進 （R7・8・9）	管路施設の計画的かつ適切な維持管理のため、腐食環境下等の管路調査を行います。	式	1	—	29,500 千円	0 千円 29,500千円をR8繰越
			1	—		
広域化・共同化事業の推進 （R8・9）	将来の下水道施設統廃合に向け、関係機関との調整を行います。	式	1	—	0 千円	0 千円
			1	—		
下水道事業経営戦略の改定 （R7）	下水道事業経営戦略の改定を行います。	式	1	—	4,054 千円	3,058 千円
			1	—		
					千円	千円
					千円	千円
					千円	千円
					千円	千円

④ アウトカム（成果）

指標名	目標値	R7実績値
受益者負担金過年度未収金収入額（全体）	1,500,000円	1,663,900円
使用料未収金収入額（夜間集金先分）	50,000円	53,548円
維持管理費の削減・平準化を目標とした施設の統廃合（事業費執行率）	—	—

⑤ 点検・改善

業務の振り返り	改善の余地			
・受益者負担金催告訪問は、事前に訪問先の分析等を行い、必要に応じて随時訪問することで、より少ない時間と人員で効果的に集金ができました。また、使用料催告訪問においても、委託業者と連携を密にし、効率的に集金することができました。 ・将来の施設の統廃合について、内部検討・関係機関との調整を実施しました。	☐ コスト	☐ 活動	☐ 成果	☐ その他
	今後の方向性			
	・受益者負担金及び使用料について、引き続き過年度未収金額の減少を目指します。			